

米沢市立病院・三友堂病院新病院建設工事に係る エネルギーサービス事業者選定公募型プロポーザル実施要項

I 一般事項

1 目的

米沢市立病院（以下「市立病院」という。）と三友堂病院は、機能分化を進めながら医療連携の形を構築していくことと、令和 5 年度までに現市立病院敷地に両病院を同時に建設し、新病院の開院を目指していくために、平成 30 年度に両病院それぞれに基本計画を策定した。これらを踏まえて、令和元年7月に病院本體工事の設計者を選定し、建設計画の基本となる建築概要、配置計画、平面計画などを主な内容とする『基本設計』をまとめたところである。

新病院を整備するに当たりエネルギーサービス事業を提供する企業による高度な技術を活用した設備等の設計、施工、運転・保守・維持管理を行うことで、病院建物のライフサイクルコストと環境負荷の低減を図ることを目的として、エネルギーサービス事業者を公募型プロポーザルにて選定する。

2 用語等の定義

(1) エネルギーサービス事業者

エネルギーサービス事業者（以下、「事業者」という。）とは、前記「I-1 目的」を果たすために、新病院内の設備等の設計、施工を行い、完成後にはその設備等を保有し、運転・保守・維持管理を行う事業者のことをいう。

(2) 評価委員会

評価委員会とは、米沢市立病院・三友堂病院新病院建設工事エネルギーサービス事業者選定公募型プロポーザル評価委員会をいう。本プロポーザルにおいて、優先交渉権者・次点者の選定を公平・公正に進めるため、学識経験者を含む委員で構成する。

(3) CMr

CMr とは、コンストラクションマネージャーであり、実施設計段階及び工事施工段階において、発注者を支援する者をいい、発注者が必要と認める場合には、関係打合せに参画する。

3 エネルギーサービス事業者選定の概要

(1) 発注者

米沢市立病院 米沢市病院事業管理者 渡邊孝男

一般財団法人三友堂病院 理事長 仁科盛之

MUL プロパティ株式会社 代表取締役 船橋啓二（アメニティセンター事業者）

(2) 選定方式

企業の高度な技術を設計に反映させるため、技術提案及び事業運営に係る費用の見積（以下、「技術提案等」という。）を求め、それらを総合的に評価し、優先交渉権者を選定する「公募型プロポーザル方式」とする。

(3) 選定方法

発注者は、発注者が定める参加要件を満たす者から技術提案等を受け、評価点が最も高い者を「優先交渉権者」として選定する。選定にあたっては、評価委員会にて審査を行う。選定後、発注者

と協議を行い、合意に至った場合は「事業者」となる。

なお、委員構成は次のとおりとし、評価委員会は非公開とする。

【外部有識者】

| 氏 名 | 役職名 | 備 考 |
|-------|---------------------------|--------|
| 山下 哲郎 | 工学院大学 建築学部 建築学科 教授 | 審査委員長 |
| 笥 淳夫 | 工学院大学 建築学部 建築デザイン学科 教授 | 審査副委員長 |

【三友堂病院】

| 氏 名 | 役職名 | 備 考 |
|-------|---------------------|-----|
| 仁科 盛之 | 一般財団法人三友堂病院理事長 | |
| 穂坂 雅之 | 三友堂リハビリテーションセンター病院長 | |
| 田林 義則 | 一般財団法人三友堂病院理事 | |

【米沢市立病院】

| 氏 名 | 役職名 | 備 考 |
|-------|-------------------|-----|
| 渡邊 孝男 | 米沢市立病院 米沢市病院事業管理者 | |
| 大串 雅俊 | 米沢市立病院長 | |
| 渡辺 勲孝 | 米沢市立病院事務局長 | |

【アメニティセンター】

| 氏 名 | 役職名 | 備 考 |
|--------|----------------------------|-----|
| 渡邊 総一郎 | 株式会社アインファーマシーズ 東北支店 支店長 | |

(4) 審査の公表

審査の結果は、参加者全員に通知するとともに米沢市立病院と三友堂病院のホームページに公表する。

4 エネルギーサービス契約

- (1) 発注者は、優先交渉権者と基本協定を締結し、協議が整った後、エネルギーサービス提供開始日までに、エネルギーサービス料、サービス内容、その他の条件等について定めたエネルギーサービス契約を締結する。
- (2) 発注者はサービスの対価としてエネルギーサービス契約で定めるエネルギーサービス料を支払う。
- (3) 優先交渉権者がその決定後、基本協定の締結までに「I-11 参加資格」の要件を満たさなくなった場合は、原則、優先交渉権を失い、基本協定は締結しないものとする。また、既に基本協定を締結していた場合は、その効力を失うものとする。
- (4) 発注者は、優先交渉権者と基本協定を取り交わせない又はその効力を失った場合及びエネルギーサービス契約を締結できない場合は、優先交渉権者を除く本プロポーザルに参加した者のうち審査結果の順位が上位であった者から順に、交渉の意思を確認した上で、新たな優先交渉権者として、基本協定を締結し、協議が整った後、エネルギーサービス契約を締結する。なお、優先交渉権者は、価格等の交渉において知り得た情報を秘密情報として保持するとともに、かかる秘密情報を第三者に漏らしてはならない。

5 建設概要

(1) 工事の規模・内容 (【 ES 工事 】： エネルギーサービス事業範囲の工事)

① 主要用途

- 1) 米沢市立病院 (270 床程度)
- 2) 三友堂病院 (199 床)
- 3) アメニティセンター (院外調剤薬局、コンビニ、レストラン、保育所、厨房、他)
- 4) エネルギーセンター (両院、アメニティセンター共用のエネルギーセンター) 【 ES 工事 】

② 工事種別 新築工事、解体工事

③ 構造

- 1) 米沢市立病院：鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
免震 地下 1 階、地上 7 階建て
- 2) 三友堂病院：鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
免震 地下 1 階、地上 7 階建て
- 3) アメニティセンター：鉄骨造 耐震 地上 5 階建て
- 4) エネルギーセンター：鉄筋コンクリート造 地上 4 階建て 【 ES 工事 】

④ 規模

- 1) 米沢市立病院：建築面積 約 3,500 m² 延べ床面積 約 23,400 m²
- 2) 三友堂病院：建築面積 約 2,800 m² 延べ床面積 約 14,900 m²
- 3) アメニティセンター：建築面積 約 900 m² 延べ床面積 約 3,200 m²
- 4) エネルギーセンター：建築面積 約 600 m² 延べ床面積 約 1,300 m² 【 ES 工事 】

⑤ 【 ES 工事 】 の 工事範囲

建築工事、電気設備工事、給排水衛生設備工事、空調換気設備工事、外構工事、造成工事、既存解体、各工事に係るエネルギーサービス事業範囲の工事。

⑥ 工期

米沢市立病院：工事請負契約締結日の翌日から令和 7 年 3 月 31 日(予定) まで
三友堂病院：工事請負契約締結日の翌日から令和 7 年 6 月 30 日(予定) まで
アメニティセンター：工事請負契約締結日の翌日から令和 7 年 6 月 30 日(予定) まで
ただし、既存解体、及びその後の外構工事、造成工事を除く新築工事完成引渡しは令和 5 年 7 月 31 日(予定) とする。

※ 工期についてはあくまでも予定であり、今後の社会情勢等により変更となる可能性がある。

(2) 敷地の概要

- ① 工事場所 山形県米沢市相生町 6 番 36 号 外
- ② 敷地面積 約 36,000 m²
- ③ 敷地要件 用途地域：第 2 種中高層住居専用地域 建蔽率 60% 容積率 200%
防火地域指定なし防火指定：22 条区域

6 病院本体工事に関わる設計業務等の関係者

- (1) 設計者：株式会社 内藤建築事務所
- (2) CMr：日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社
- (3) 新病院建設計画支援：KPMG ヘルスケアジャパン株式会社

7 事務局

米沢市立病院 事務局総務課病院開設準備室
(担当：安藤、山崎)

〒992-8502 山形県米沢市相生町 6 番 36 号
TEL : (0238)22-2450(代)(内線 4202) FAX : 0238-22-2458
E-mail : j2-soumu@yone-city-hp.jp
※メール送信の際は、件名冒頭に【ES】と記載すること。

8 エネルギーサービス事業の範囲

事業者は要求水準書〔別紙1〕及びリスク分担表〔別紙2〕に基づき、下記の業務を行うものとする。

冷温熱源設備、給湯設備、受変電設備、非常用発電設備、直流電源設備、無停電電源設備（いずれも付属機器、配管等含む。）、エネルギーセンター（建築）に関する設計、施工、工事監理（調達・手続き申請等を含む。）。

- (1) エネルギーサービス事業期間内における予防保全を前提とした設備とエネルギーセンター（建築）の維持管理運用業務（該当建物・設備・外構の保守管理、清掃、警備・防災管理等の業務）
- (2) 設備故障時の緊急対応業務及び復旧業務
- (3) 設備の遠隔監視業務
- (4) エネルギーサービス事業期間内における供給設備データの計測検証、評価分析、運用改善等の提案
- (5) ES 設備の「エネルギー使用の合理化に関する法律」に基づく省エネルギー計画書及び定期報告書の作成支援業務

※ 設備運用に要する電力、ガス等のエネルギー調達は発注者が行う。

9 事業期間

新築工事完成引渡し〔令和 5 年 7 月 31 日(予定)〕後 15 年間 とする。

10 実施スケジュール

実施スケジュールは、次表(予定)のとおりとする。

| 区分 | 項目 | 日程・期間 |
|---------|---------------------|---|
| 実施要項等公表 | 実施要項の HP 掲載 | 令和 2 年 7 月 6 日(月) |
| | 秘密保持誓約書提出 | 参考資料貸出時 |
| | 参考資料の貸出期間 | 令和 2 年 7 月 6 日(月)から 令和 2 年 9 月 23 日(水) |
| 参加資格審査 | 参加表明に関する質疑提出期間 | 令和 2 年 7 月 6 日(月)から 令和 2 年 7 月 13 日(月) |
| | 参加表明に関する質疑回答 | 令和 2 年 7 月 20 日(月) |
| | 参加資格確認申請書提出期間 | 令和 2 年 7 月 6 日(月)から 令和 2 年 7 月 27 日(月) |
| | 参加資格確認申請書審査結果 通知 | 令和 2 年 8 月 3 日(月) |

| | | |
|-------|--------------------------------------|--|
| 技術等審査 | 質疑提出期間 | 令和 2 年 8 月 3 日(月)から 令和 2 年 8 月 17 日(月) |
| | 質疑回答（※ エネルギーセンター建築 工事等の参考額を併せて通知） | 令和 2 年 8 月 31 日(月) |
| | 技術提案書等提出期間 | 令和 2 年 8 月 17 日(月)から 令和 2 年 9 月 23 日(水) |
| | 辞退届提出期限 | 令和 2 年 9 月 23 日(水) |
| | プレゼンテーション・ヒアリング | 令和 2 年 10 月 10 日(土) ※ 参加者数によっては変更 となる場合がある |
| | 最終審査結果通知 | 令和 2 年 10 月 14 日(水) |
| 基本協定 | 締結 ※締結できない場合は下記(3) に よる | 令和 2 年 10 月 中旬～下旬 (予定) |

- (1) 参加資格確認申請書、技術提案書等の提出物は、提出期限日までに、原則、郵送で提出すること。提出先は事務局とし、配達証明付き書留郵便にて郵送すること。なお、提出期限日午後5時まで
に必着とする。参加資格確認申請書については、持参提出も認める。
- (2) スケジュールについて変更が生じた場合は、既に参加表明等があった者に通知するとともに、米
沢市立病院と三友堂病院のホームページに掲載する。
- (3) 基本協定の締結ができない場合は、優先交渉権者を除く本プロポーザルに参加した事業者のう
ち評価結果の順位が上位であった者から順に交渉を行う。

11 参加資格

参加要件の基準日は公告日とする。ただし、各号において基準日及び期間等を指定した場合は、それによるものとする。なお、本プロポーザルの参加者は単体企業及び共同企業体いずれも可能とし、単体企業及び共同企業体の場合においては代表構成員となる企業は、次にあげる全ての条件を満たす者とする。ただし、下記(1)から(7)については共同企業体の全構成員が満たすこととする。また本プロポーザルの参加者が、プロポーザル実施期間中に下記各号何れかの要件を満たせなくなった場合、参加資格を失うものとする。

- (1) 地方自治法施行令(昭和 22 年政令第 16 号)第 167 条の4第1項の規定に該当しない者及び同条第2項の規定に基づく米沢市の入札参加の制限を受けていないこと。
- (2) 業務等に対応する営業種目について米沢市競争入札参加登録簿に登録され、申請内容に虚偽記載がない者であること。ただし、応募時、米沢市競争入札参加登録簿に登録されていない場合であっても、広く提案を求める必要があることから、米沢市競争入札参加資格審査申請に準じた手続きのうえ、承認を経ることで参加することを認める。その場合、米沢市役務提供等契約競争入札参加資格審査申請書 様式1(その2) の 2 希望業務 で、100 その他を選択し、() に業務名として「エネルギーサービス」と記入の上、業務内容の補足説明を記入し、米沢市競争入札参加資格審査申請で定められた必要書類と併せて、参加資格確認申請書提出時に提出すること。

- (3) 会社更生法(平成 14 年法律第 154 号)に基づき更生手続き開始の申立、破産法(平成 16 年法律第 75 号)に基づき破産手続き開始の申立、又は民事再生法(平成 11 年法律第 225 号)に基づき再生手続き開始の申立がなされていないこと。(更生(再生)手続き開始決定後に市長が入札参加資格の再承認をした者を除く。)
- (4) 建設業法(昭和 24 年法律第 100 号)に基づく営業停止処分期間中でないこと。
- (5) 米沢市競争入札参加資格者指名停止規程(令和 2 年 3 月 16 日施行)に基づく入札参加資格指名停止を受けていないこと。応募時、米沢市競争入札参加登録簿に登録されていない場合、山形県競争入札参加資格者指名停止要綱に基づく指名停止を受けていないこと。
- (6) 米沢市が行う事務及び事業からの暴力団排除の推進に関する要綱(平成 25 年公示第 41 号)に基づく排除措置等を受けていないこと。
- (7) 病院本体工事に関わる設計業務等の受託者と資本若しくは人事面において次にあげる事項に該当しないこと。
 - ① 当該設計業務等の受託者の発行済株式総数の 100 分の 50 を超える株式を有し、又はその出資総額の 100 分の 50 を超える出資をしている者。
 - ② 代表権を有する役員が当該設計業務等の受託者の代表権を有する役員を兼ねている者。

II 参加表明

1 参加資格審査

本プロポーザルに参加を希望する者は、参加資格審査に係る提出書類を作成し、「I-9実施スケジュール」に該当する期限までに事務局に提出すること。事務局は、提出書類に基づき参加資格審査を行い、技術等審査に進む者を選定する。

- (1) 提出期間
「I-9 実施スケジュール」の提出期限日まで
- (2) 提出方法
提出先は、事務局とし、配達証明付き書留郵便にて郵送すること。なお、(1)の提出期限日午後 5 時までには必着とする。また、持参提出も認める。
- (3) 提出書類
参加資格審査に係る提出書類は以下のとおり。
 - ① 参加資格確認申請書(様式1)
 - ② 提案書概要調書(様式2)
 - ③ 実績調書(様式3)
 - ④ 暴力団排除条例に関する誓約書・役員名簿(様式5-1、5-2)
- (4) 提出部数
各 3 部
- (5) 使用する言語、通貨及び単位
使用する言語は日本語、通貨は日本円、単位は日本の標準時及び計量法(平成4年法律第 51 号)に定めるものとする。
- (7) 各様式については、様式ごとに提示している事項に準じたくえで、必要に応じて記入枠の調整、罫線・段組等を編集して作成すること。また、各様式において記載事項が不足している場合等には、適宜、当該様式に記載事項を追加すること。
なお、参加資格確認申請書(様式1)を1頁とし、番号を付するとともに全頁数を各様式の下部に表示すること。(頁の例:1/00~00/00)

1-2 その他

- (1) 一度提出された書類等の訂正及び差替え等は原則認めない。(ただし、軽微な誤り等を修正するもので発注者が認めたもの、及び発注者が指示するものは除く。)
- (2) 提出された書類や図書等は、返却しない。
- (3) 発注者は応募書類、添付書類等に関して、他の参加者に知られることのないよう取り扱い、保管するものとする。
- (4) 本書、及び本プロポーザルに関する全ての資料について、内容に追加、または変更がある場合は、本プロポーザル参加者に対して別途通知するものとする。

2 参加資格審査結果通知

参加資格審査の結果は「I-9実施スケジュール」の期限までに書面により参加申請者に通知する。

3 参加資格がないと認めたものに対する理由の説明

参加資格がないと認められた者は、事務局に対して参加資格がないと認めた理由について書面により、次に従い説明を求めることができる。

(1) 提出期限

参加資格がないと認められた者は、審査結果の通知の翌日から起算して 7 日(土曜日、日曜日及び祝日を除く)以内に書面(任意様式)により発注者に対し説明を求めることができる。

(2) 回答期限

回答については、説明を求めることができる最終日の翌日から起算して 10 日(土曜日、日曜日及び祝日を除く)以内に、書面により行う。

(3) その他

(1)による書面の提出先は事務局とし、配達証明付き書留郵便にて郵送すること。

4 参加表明後辞退

参加表明後に辞退する場合は、「I-9 実施スケジュール」の期限までに辞退届(様式 11)を提出すること。提出先は事務局とし、配達証明付き書留郵便にて郵送すること。

Ⅲ 参考資料の貸出

本プロポーザルの参加資格確認申請書及び秘密保持に関する誓約書(様式 4)を提出した者に対し、米沢市立病院・三友堂病院新病院建設工事基本設計書等の本プロポーザルに関する参考資料を、DVD-Rにて貸出する。

- 1 貸出を希望する者は、事前にその旨と発送先住所を電子メール及び電話にて事務局に連絡し、秘密保持に関する誓約書(様式 4)を事務局へ配達証明付き書留郵便にて郵送すること。秘密保持に関する誓約書(様式 4)が到着次第、資料を発送する。
- 2 貸出期間は「I-9実施スケジュール」に記載の通りとする。
- 3 返却先は事務局とし、配達証明付き書留郵便にて郵送すること。

Ⅳ 質疑応答

参加表明に関する質疑及び技術等審査に関する質疑を下記要領にて実施する。

1 提出期限

「I-9実施スケジュール」に該当する期限までに電子メールにて事務局に送付すること。

2 提出方法

参加表明に関する質疑、技術審査等に関する質疑共に、質疑回答書(様式 6)に記載の上、事務局にマイクロソフト社製のワードデータで送信すること。電子メールの件名は、「【ES】(会社名)米沢市立病院・三友堂病院新病院建設工事公募型プロポーザル(質疑書)」とすること。また、送信後、確認のため事務局に電話連絡すること。

3 質疑に対する回答

「I-9実施スケジュール」の該当する期限までに、米沢市立病院と三友堂病院のホームページに掲載する。

4 その他

質疑への回答は、本事業に関する事項に限る。なお、質問内容で参加者が特定できる記述(自社の名称、自社が請負った事業が容易に特定できる内容等)は避けること。

V 技術提案書の提出

1 技術提案書

技術提案書については、下記の内容に従って、ライフサイクルコスト及び環境負荷低減を目的とした提案を行うこと。

(1) 提出期間

「I-9 実施スケジュール」の提出期限日まで

(2) 提出方法

提出先は、事務局とし、配達証明付き書留郵便にて郵送すること。なお、提出期限日午後 5 時までに必着とする。

(3) 提出書類

技術等審査に係る提出書類は以下のとおり。なお、②～④の PDF データ、及び③、④についてはマイクロソフト社製のエクセルデータも併せて提出すること。

- ① 提案書提出届(様式 7)
- ② 技術提案書(様式 8)
- ③ 費用等積算表[元金相当費用一覧](様式 9)
- ④ 直接工事費[種目別内訳書](様式 10)

2 技術提案等の記載内容

技術提案書については、下記の内容を盛り込んで記載すること。

(1) 実績・体制

① 実績に関すること

- ・ エネルギーサービス事業とはエネルギー供給機器の設計、施工、資産所有、メンテナンスを全て含んだ長期契約サービスのこととする。
- ・ 本提案の実現性を示すため、病院でのエネルギーサービス実績、事例、具体的な取組を記載すること。
- ・ 2020 年 7 月現在の病院におけるエネルギーサービス実績一覧を示すこと。実績一覧には案件名、対象設備概要、病床数、サービス開始年月を記載すること。
- ・ 病院以外でのエネルギーサービス実績数を記載すること。

② 体制に関すること

- ・ 本事業への取組体制を具体的に記載すること。

③ 取組姿勢に関すること

- ・ 本事業の目的、事業概要、要求水準書に記載された基本性能を理解し、積極的な姿勢、取組にあたっての想いを記載すること。
- ・ 要求水準書以外の項目やサービス内容について追加提案等がある場合は、記載すること。ただし、本要項及び要求水準書の遵守を原則とし、本要項や要求水準書に特に記載のある場合を除き、事業者選定の主旨から逸脱するような追加提案は認めないものとする。
- ・ 任意提案項目について別途費用等が発生する場合は別途記載するものとし、「(4) 経済性」への反映は行わず、要求水準範囲内と区分して明記すること。
- ・ 補助金、税制優遇措置等を見込む料金を提案する場合は、本項目内で提案すること。その際、制度名称、対象機器、補助率を明記すること。補助金対象はエネルギーサービス事業範囲に限定し、エネルギーサービス事業範囲外が補助対象となるものについてはその減額分を見込んだ評価をしてはならない。

(2) 信頼性

① システム構築に関すること

- ・ 要求水準書[別紙1]に記載された要求事項を理解し、具体的かつ実現性が高い提案をし、そのシステム構成について説明すること。
- ・ システムフロー図、機器表、機器配置図を示すこと。
- ・ 別紙(任意様式)として単線結線図を示すこと。

② 耐久性・耐震性に関すること

- ・ 設備機器の耐久性、耐震性について具体的に記載すること。

③ サポート・メンテナンスに関すること

- ・ 評価分析、運用改善提案、ランニングコスト軽減支援等について記載すること。
- ・ エネルギーサービス事業の全範囲に関わる維持管理の体制及び事業期間終了後の対応について記載すること。
- ・ 平常時の機器の保守方法について記載すること。
- ・ 監視体制、故障検知の方法について記載すること。
- ・ 故障発生時の連絡体制、現場駆け付け等の支援体制について記載すること。

④ 災害時における事業継続性に関すること

- ・ 災害発生時等における設備の安定性や、速やかな復旧に向けた方策等を提案すること。

⑤ 倒産・事業撤退等、事業継続が困難となった場合における事業継続性に関すること

- ・ 倒産・事業撤退等、エネルギーサービス事業者の事業継続が困難となった場合において病院機能を維持するために必要な方策等を提案すること。

(3) 社会性

① 環境への配慮に関すること

- ・ 環境への影響、及び省エネルギー(CO2 排出量及び一次エネルギー消費量)について記載すること。

(4) 経済性

① コストに関すること

- ・ エネルギーサービス料金には設計、施工、工事監理、維持管理、緊急対応・データ評価、エネルギーマネジメント等に関わる費用及び租税、金利、事業者経費等を含み、病院が事業者に直接支払う費用を提示すること。
- ・ 年額及び 15 年額の費用を税込で記載すること。
- ・ 参考水道光熱費(※)に基づいて 15 年間の光熱水費を記載すること。燃料費調整単価、

再生可能エネルギー賦課金については光熱水費の算定に見込まないものとする。

想定されるエネルギー使用量の年間の時刻別、月別負荷パターンについては、想定エネルギー使用量〔別紙3〕を参照。

- ・ 事業用地を設定契約に基づき借受け、借地料（参考額：1,007,000 円／年 程度）を市立病院に支払うものとする。
- ・ エネルギーセンターにおける建築工事、外構工事、造成工事については、施工予定者選定公募型プロポーザルの参加者より参考見積が提出される予定。それに基づいた金額を、エネルギーセンターにおける建築工事、外構工事、造成工事についての参考額として、技術等審査に関する質疑回答と併せ「I-9実施スケジュール」の該当する期限までに、米沢市立病院と三友堂病院のホームページに掲載する。なお、この金額はあくまでも参考額であり、エネルギーセンターにおける建築工事、外構工事、造成工事についての工事費は、本プロポーザル参加者にて算定・判断の上、金額を計上すること。
- ・ 補助金活用及び税制優遇等を見込まない料金を記載すること。
- ・ 補助金活用及び税制優遇等の提案はその他提案(任意提案項目)として評価する。
- ・ 躯体等追加整備(水蓄熱等)を伴うシステムを提案する場合、その追加整備費用は事業者が負担すること。なお、事業者は費用負担のみを行い、追加整備によって生じた資産は病院に帰属する。

(※) 参考水道光熱費

設備運用に要する電力、ガス等のエネルギー調達には病院が行う。料金単価については下記の条件に従うこと。

電力:月額基本料金、月額予備電源基本料金、及び単価は下記表のとおりとする。(消費税込)

| 料金項目 | | 電力価格 |
|------------|--------|----------------------------|
| 月額基本料金 | | 契約電力 (k w) × 1661.00 × 85% |
| 月額予備電源基本料金 | | 契約電力 (k w) × 1661.00 × 10% |
| 基本料金単価 | | 1, 661円00銭/kWh |
| 従量料金単価 | ピーク | 20円74銭/kWh |
| | 夏季昼間 | 19円20銭/kWh |
| | その他季昼間 | 18円14銭/kWh |
| | 夜間 | 11円33銭/kWh |

- ・ 夏季:毎年 7 月 1 日から 9 月 30 日までの期間
- ・ その他季節:夏季以外の期間
- ・ ピーク時間:夏季の毎日 13 時から 16 時までの時間
- ・ 昼間時間:毎日 8 時から 22 時までのピーク時間以外の時間
- ・ 夜間時間:ピーク時間及び昼間時間以外の時間及び日曜日、「国民の祝日に関する法律」に規定する休日、1/2、1/3、4/30、5/1、5/2、12/30、12/31 の終日とする。
- ・ 上記単価は燃料費調整単価相当を含まない。
- ・ 上記単価は再生可能エネルギー賦課金を含まない。
- ・ 契約電力の上限:高圧 2,400kW (6kV)
- ・ 予備送電:予備電源とする。

ガス:使用量と費用負担区分等は下記表のとおりとする。

| 項目 | 年間ガス使用量 | 費用負担区分 |
|--------------------------------|-----------------------|---------------------------------|
| 常用発電設備及び冷温熱源設備 給湯・蒸気設備での使用分 | 事業者提案による | 米沢市立病院 三友堂病院 アメニティセンター事業者 |
| 厨房での直接使用分 | 厨房は電化厨房のため ガス使用はなし | 米沢市立病院 三友堂病院 アメニティセンター事業者 |

ガス:単価は下記表のとおりとする。(消費税込)

| 料金項目 | ガス価格 |
|--------------------|-----------|
| LPガス (バルク供給システム) | 238.15円/㎡ |
| LPガス (20Kgボンベパラビン) | 300.00円/㎡ |

- ・ 定額基本料金:1 月当たりの基本料金
- ・ 流量基本料金単価:1 月当たりの 1 年間を通じて 1 時間の最大の使用量の単価
- ・ 昼間基本料金:1 月当たりの最大需要期における 1 か月間の昼間使用量が最も多い月の使用量の単価
- ・ 夜間基本料金:1 月当たりの最大需要月(12 月～3 月までの 4 か月)における 1 か月間の最も多い月の使用量から昼間使用量(午前 7 時から午後 10 時までの使用量)を控除した後の使用量の単価
- ・ 最大需要月基本料金単価:1 月当たりの最大需要月(12 月～3 月までの 4 か月)における 1 か月間の最も多い月の使用量
- ・ 上記単価は原料調整費単価相当を含む
- ・ ガスの熱量は 1m³ 当たり 46MJ とする

灯油、A 重油:単価は下記表のとおりとする。(消費税込)

| 料金項目 | 油価格 |
|------|----------|
| 灯油 | 70.00円/L |
| A重油 | 46.00円/L |

水 :下記表のとおりとする。

| 項目 | 年間使用量 | 費用負担区分 |
|----------|----------|---------------------------------|
| 施設全体の使用分 | 事業者提案による | 米沢市立病院 三友堂病院 アメニティセンター事業者 |

※ 上下水道単価は米沢市公表の料金を参照すること。

水道料金: <https://www.city.yonezawa.yamagata.jp/2046.html>

下水道料金: <http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/1411.html>

3 作成要領

(1) 提出部数

各 25 部

各データについては指定された形で DVD-R 等(5 枚)を提出する。

(2) 使用する言語、通貨及び単位

使用する言語は日本語、通貨は日本円、単位は日本の標準時及び計量法(平成4年法律第51号)に定めるものとする。

(3) 技術提案書内において、「v-2 技術提案書の記載内容」(1)～(4)の各項目のうち、記載箇所ごとに該当する項目がわかるように記載すること。各様式については、様式ごとに提示している事項に準じたうえで、必要に応じて記入枠の調整、罫線・段組等を編集し作成すること。また、各様式において記載事項が不足している場合等には、適宜、当該様式に記載事項を追加すること。

(4) 注意事項

- ① 技術提案書については、審査を公平に行うため参加者が特定できる記述(自社の名称、自社が請負った工事が容易に特定できる内容等)は避けること。
- ② 提出書類は、その各項目における必要記載事項又は提案事項がない場合でも提出すること。その場合には、「記載に該当する内容がありません。」又は「記載に該当する提案がありません。」等とそれぞれの様式に記載すること。なお、白紙提出とみなされる書類は未提出扱いとなり、参加資格を喪失する場合があるので注意すること。

4 費用負担

本プロポーザルへの提出書類の作成及び提出、プレゼンテーション・ヒアリング等に係る全ての費用は参加者の自己負担とする。(優先交渉権者となった場合は、基本協定の締結までに係る全ての費用を優先交渉権者となった参加者が自己負担するものとする。)

5 その他

- (1) 一度提出された書類等の訂正及び差替え等は原則認めない。(ただし、軽微な誤り等を修正するもので発注者が認めたもの、及び発注者が指示するものは除く。)
- (2) 提出された書類や図書等は、返却しない。
- (3) 発注者は応募書類、添付書類等に関して、他の参加者に知られることのないよう取り扱い、保管するものとする。
- (4) 参加者数が多数の場合は、技術提案書等の内容のみによる事前審査を行い、プレゼンテーション参加者を制限することがある。
- (5) 本書、及び本プロポーザルに関する全ての資料について、内容に追加、または変更がある場合は、本プロポーザル参加者に対して別途通知するものとする。
- (6) 発注者、病院本体工事に関わる設計業務等の受託者(I-5)、及び病院本体工事の施工予定者とよく調整すること。

VI プレゼンテーション・ヒアリング

- 1 本プロポーザル参加者は、提出された技術提案書等に基づいてプレゼンテーションを行い、その後、評価委員によるヒアリングを受ける。
- 2 実施場所、実施時間、その他詳細については後日、事務局より連絡を行う。
- 3 実施方法
 - (1) 評価委員及び事務局によるヒアリング形式(公開)とする。

- (2) 当日の詳細についても後日、事務局より連絡を行う。
- (3) プレゼンテーションは、プロジェクターを使用し、技術提案書等の内容に沿って行うこと。
(プロジェクター、スクリーンは発注者が用意するが、パソコンは参加者が用意すること。)
- (4) プレゼンテーション及びヒアリングの参加者は、本事業で中心的役割を担う担当者を含め 5 名以内とすること。
- (5) ヒアリング時の参加者の呼称は、参加者 A、参加者 B 等のように参加者名を伏せて行う。
※ ヒアリングの公開については、今後の社会情勢等により変更となる可能性がある。

VII 審 査

1 審査方法

本プロポーザルの審査は、以下のとおり行う。

- (1) 本プロポーザルの審査は、評価委員会が行う。
- (2) 技術提案書及びプレゼンテーション・ヒアリングに基づき客観的に評価する。
- (3) 各参加者の評価点は下記 ① ～ ④ を合計した得点（最大得点：100.00 点）とする。
 - ① 「実績・体制」の評価点（最大得点：25.00 点）
項目ごとに評価委員全員の合計得点を評価委員数で除した平均点の算出を行い、小数第 3 位を切り捨てし、小数点第 2 位まで求めたものを、各項目における技術提案の評価点とする。
 - ② 「信頼性」の評価点（最大得点：40.00 点）
項目ごとに評価委員全員の合計得点を評価委員数で除した平均点の算出を行い、小数第 3 位を切り捨てし、小数点第 2 位まで求めたものを、各項目における技術提案の評価点とする。
 - ③ 「社会性」の評価点（最大得点：5.00 点）
項目ごとに評価委員全員の合計得点を評価委員数で除した平均点の算出を行い、小数第 3 位を切り捨てし、小数点第 2 位まで求めたものを、各項目における技術提案の評価点とする。
 - ④ 「経済性」の評価点（最大得点：30.00 点）
項目ごとに評価委員全員の合計得点を評価委員数で除した平均点の算出を行い、小数第 3 位を切り捨てし、小数点第 2 位まで求めたものを、各項目における技術提案の評価点とする。

2 評価方法

(1) 評価事項に対する配点

| 項目 | | 評価の視点 | 評価基準と得点 | 最大得点 | 様式 |
|----------|------|---|--|-------|-----------|
| 実績 体制 | 実績 | <p>1) 病院におけるエネルギーサービス事業(電気やガス等の一次エネルギーを自ら整備した施設を用いて加工エネルギーに変換して消費者に供給する事業)の実績を有しており、十分な実施能力があると判断できるか。</p> <p>2) 2020 年 7 月現在の病院におけるエネルギーサービス事業実績一覧を示すこと。</p> <p>3) 病院以外でのエネルギーサービス実績数及び主な案件があれば記載すること。</p> | <p>極めて優れている / 10.00</p> <p>優れている / 7.50</p> <p>やや劣っている / 5.00、</p> <p>劣っている / 2.50</p> | 10.00 | 様式 8-1 |
| | 体制 | <p>1) 代表企業、構成員の役割、責任及び関係について、具体的に示しているか。</p> <p>2) 設計、施工、工事監理、維持管理、エネルギーマネジメントについてそれぞれの品質管理、安全管理及び環境保全体制について具体的に示しているか。</p> <p>3) 病院への連絡、報告体制について具体的に示しているか。</p> <p>4) 市内企業の活用について配慮をしているか</p> | <p>極めて優れている / 8.00</p> <p>優れている / 6.00</p> <p>やや劣っている / 4.00、</p> <p>劣っている / 2.00</p> | 8.00 | |
| | 取組姿勢 | <p>1) 実施要項に記載された「事業目的」、「事業概要」及び要求水準書に記載された「本事業の基本性能」を理解し、積極的、具体的かつ実現性が高い提案をしているか。</p> <p>2) 本事業を自社が実施することによるメリットを具体的に示しているか。</p> <p>3) 補助金等、その他提案がある場合、実施要項及び要求水準書、その他提示資料の内容を遵守した範囲で提案をしてもよい。</p> <p>4) 米沢市立病院・三友堂病院新病院建設工事は整備手法として「技術提案・交渉方式(技術協力・施工タイプ)」を採用している。新病院整備についての具体的な関わり方を提案すること。</p> | <p>極めて優れている / 7.00</p> <p>優れている / 5.25</p> <p>やや劣っている / 3.50、</p> <p>劣っている / 1.75</p> | 7.00 | |

| | | | | | |
|-----|-------------|--|---|-------|-----------|
| 信頼性 | システム構成 | <p>1) 要求水準書に記載されたエネルギーサービス供給設備の要求事項を理解し、具体的かつ実現性が高い提案をしているか。</p> <p>※システムフロー図、機器表、機器配置図を示すこと。別紙として単線結線図を示すこと。</p> <p>2) 配布資料「想定使用エネルギー量と負荷パターン」に対して、適切なシステムの構成を提案し、そのシステムの解説を具体的に記載しているか。</p> <p>3) 負荷パターンについて要求水準書で提示された値以外に、LCEM（ライフサイクルエネルギーマネジメント）又は独自のシステムを用いて負荷パターンを検討しているか。</p> | <p>極めて優れている / 10.00</p> <p>優れている / 7.50</p> <p>やや劣っている / 5.00、</p> <p>劣っている / 2.50</p> | 10.00 | 様式 8-2 |
| | 耐久性・耐震性 | <p>1) 設備機器の耐久性について、材料及び構造など具体的に示しているか。</p> <p>2) 設備機器の耐震性について、具体的に示しているか。</p> <p>3) 負荷パターンについて要求水準書で提示された値以外に、LCEM（ライフサイクルエネルギーマネジメント）又は独自のシステムを用いて負荷パターンを検討しているか。</p> | <p>極めて優れている / 5.00</p> <p>優れている / 3.75</p> <p>やや劣っている / 2.50、</p> <p>劣っている / 1.25</p> | 5.00 | |
| | サポート・メンテナンス | <p>1) 評価分析、運用改善提案、ランニングコスト軽減支援等の対応は優れた内容であるか。</p> <p>2) 維持管理の体制、対応は優れた内容であるか。</p> <p>3) 平常時の機器の保守方法は優れた内容であるか。</p> <p>4) 遠隔監視、故障検知、保全計画の方法は優れた内容であるか。</p> <p>5) 故障発生時の連絡体制、現場駆け付け等の支援体制は優れた内容であるか。</p> | <p>極めて優れている / 10.00</p> <p>優れている / 7.50</p> <p>やや劣っている / 5.00、</p> <p>劣っている / 2.50</p> | 10.00 | 様式 8-3 |
| | 事業継続性 | <p>1) 災害時の事業継続性の提案内容は適正か、実現性はあるか。</p> <p>2) 災害発生時等における設備の安定稼働性や、迅速な復旧に向けた方策等は優れた内容であるか。</p> <p>3) 倒産・事業撤退等、事業継続が困難となった場合への配慮はあるか。</p> | <p>極めて優れている / 15.00</p> <p>優れている / 11.25</p> <p>やや劣っている / 7.50、</p> <p>劣っている / 3.75</p> | 15.00 | |

| | | | | | |
|-----|-----|--|---|--------|---------------------|
| 社会性 | 環境性 | 1) 環境への影 響及び省エネルギーについて配慮した提案内容であるか。 2) 環境負荷の低い運用及び環境負荷低減に対する取組は優れた内容であるか。 1) 周辺環境への影響を考慮した提案か。 | 極めて優れている / 5.00 優れている / 3.75 やや劣っている / 2.50、 劣っている / 1.25 | 5.00 | 様式 8-3 |
| 経済性 | コスト | 1) エネルギーサービス料金は適正か。 ※補助金及び税制優遇措置によるサービス料金減額分は含めないこと。 2) 設備運用に要するランニングコスト(光熱水費)は適正か。 3) エネルギーサービス料金と光熱水費の合計が優れた内容であるか。 | 極めて優れている / 30.00 優れている / 22.50 やや劣っている / 15.00、 劣っている / 7.50 | 30.00 | 様式 9 様式 10 |
| 計 | | | | 100.00 | |

(2) 技術提案に対する評価

提出された技術提案書及びプレゼンテーション・ヒアリングにより、総合的に各項目を評価する。実施、実現できる効果的かつ具体的な取り組みだと思われる提案を評価し、評価は「極めて優れている」「優れている」「やや劣っている」「劣っている」の4段階評価として配点を行う。

3 優先交渉権者の決定

評価点の合計点数が最も高い者を最優秀提案事業者とする。

なお、合計点数の最も高い者が2者以上ある場合、このうち年間運営費用(エネルギーサービス料金と光熱水費の合計)が最も低い者を優先交渉権者とする。また、年間運営費用も同額であった場合は、該当者によるくじにより決定するものとする。

4 最終審査結果通知

最終審査結果の通知は、「I-9実施スケジュール」の期限日までに書面により、参加者それぞれに通知するとともに、米沢市立病院と三友堂病院のホームページに掲載する。なお、最終審査結果に関する問合せ、異議申し立ては一切受け付けない。

X 基本協定の締結

- 基本協定の締結に当たり、発注者及び設計者、並びに優先交渉権者は、以下内容の確認を行う。
 - 優先交渉権者より提出された提案書の考え方及び妥当性
 - 提案書に基づく、実施設計着手段階での設計グレードの確認
 - 実施設計段階における、発注者、設計者及び CMr との間での情報共有の方法
- 上記1の確認において、本確認時点で想定される設計グレードに相違がある場合は、発注者及び設計者並びに優先交渉権者にて協議し、必要に応じて設計グレード又は提案された稼働後の運営費用の修正を行う。

- 3 発注者と優先交渉権者は、提案内容(修正された場合は、修正後の内容)の履行に向けて、今後の設計、施工、保守・維持管理を行うことについて合意し、基本協定を締結する。
- 4 設計及び施工期間における、発注者からの変更指示及び予見不可能な事由に起因する変更並びに社会経済情勢の変化による費用の変更については、別途協議するものとする。
- 5 発注者は、優先交渉権者と基本協定を締結できない場合は、優先交渉権者を除く本プロポーザルに参加した事業者のうち評価結果の順位が上位であった者から順番に優先交渉権者として当該契約の締結について、価格等の交渉の意思を確認した上で本事業の契約締結及び価格等の交渉を行う。なお、優先交渉権者は、価格等の交渉において知り得た情報を秘密情報として保持するとともに、かかる秘密情報を第三者に漏らしてはならない。
- 6 発注者は CMr 支援のもと、上記 1 から 4 における、確認、協議及び合意について、病院本体工事の設計者及び優先交渉権者との調整を行うこととする。

XI その他

1 失格条項

参加者が次のいずれかに該当した場合、失格とする。

- (1) 提出物に虚偽の記載又は、不正があった場合。
- (2) 提出物の作成要領、提出方法及び提出期限を守らなかった場合。
- (3) 評価委員又は本プロポーザルの関係者に、直接又は間接を問わず、本件に関し故意に接触した場合。
- (4) その他、評価委員会が不適切と判断した場合。

2 参加者数

参加者が1者の場合、本プロポーザルは実施しない。

3 公表、非公表の範囲

本プロポーザルにおける公表及び非公表の範囲は、下記のとおりとする。

- (1) 事後公表の範囲
 - ① 優先交渉権者、次点者の名称
 - ② 全参加者の評価点
 - ③ 審査結果の講評(基本協定締結後に予定)
- (2) 非公表
 - ① 参加資格確認申請書(添付する資料等)
 - ② 技術提案書等(添付する資料等)

4 建設予定地の現地視察及び既存施設現況図の閲覧等について

事務局が開催する現地説明会については行わない。ただし、本件工事等に関する現地視察及び米沢市立病院既存施設現況図の閲覧等(以下「現地視察等」)については、下記要領にて希望者への対応を実施する。

- (1) 期間
令和 2 年 8 月 4 日(火)から同年 8 月 7 日(金)までの午前 10 時から午後 4 時の間とする。
(但し、正午から午後 1 時までを除く)
- (2) 対象
参加資格審査の結果、参加資格「有」と判定された者

(3) 申込みと留意事項

(1) 期間内において 2 以上の希望日を設けた上、事務局に連絡し、日程調整を行う。希望した時点で現地視察等の期間を経過している場合、及び現地視察等の期間内であっても事務局が対応できないと判断した場合は受付けない。なお、病院敷地・建物内には立入禁止区域があるため、現地視察等の可能な範囲は、事務局の指示に従うこと。指示に従わない場合は、プロポーザルの参加を認めない場合がある。

5 関連書類

| 番号 | 様式 | 書類名 | 備考 |
|----|------------------|------------------------|---------------------------------------|
| ① | 様式1 | 参加資格確認申請書 | |
| ② | 様式2 | 提案者概要調書 | |
| ③ | 様式3 | 実績調書（実績一覧） | |
| ④ | 様式4 | 秘密保持に関する誓約書 | |
| ⑤ | 様式5-1 ・ 様式5-2 | 暴力団排除に関する誓約書 ／ 役員名簿 | Wordデータの内容 1データに様式5-1・ 様式5-2を格納 |
| ⑥ | 様式6 | 質問書 | |
| ⑦ | 様式7 | 提案書提出届 | |
| ⑧ | 様式8-1 ～ 様式8-3 | 技術提案書 | Excelデータの内容 技術提案書:3シート |
| ⑨ | 様式9 | 費用等積算表〔元金相当費用一覧〕 | |
| ⑩ | 様式10 | 直接工事費〔種目別内訳書〕 | |
| ⑪ | 様式11 | 辞退届 | |